Speech「My Dream」

☆ねらい

　自分の将来の夢ややりたいことに関して書いたスピーチの原稿をグループ内で互いに評価し合う活動を通して，より相手に伝わりやすいものにすることができる。

☆扱う場面

　第２学年　　不定詞（want to ～）の学習時における発展的な活動

☆指導の手順と留意事項（３時間扱い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |  |
| ① モデルスピーチを  聞いて，その内容を  考える。 | ・使える表現を多く用いているスピーチを聞かせて，その内容を理解させる。 |  |
| ② スピーチの大まか  な内容をメモ用紙  にまとめる。 | ・主要な内容のみ書かせる。  ①　自分の夢は何か？  　②　その理由は何か？（２つ） | ＷＳ１ |
| ③ 下書き（First  Draft）を書く。 | ・使える表現のリスト（ＩＤＥＡ　ＢＯＸ）を参考に書くように促す。  ・スピーチの展開に合わせて書かせる。 | ＷＳ２  ＷＳ３ |
| ④ スピーチの下書きをもとにグループ内で発表し，評価し  合う。 | ・評価の規準を具体的に示す。  　①　表現  　②　英語  　③　内容 | ＷＳ４ |
| ⑤ 清書（Final Draft）を書く。 | ・グループの人からのアドバイスを参考に書き直させる。 | ＷＳ５ |
| ⑥ 学級でスピーチを  する。 | ・グループごとに発表させる。  ・聞いている人は規準の３点について，良い点と改善すべき点をメモする。  ・「Best Performance Group」と「Good Speakers」を選ぶ。 | ＷＳ６ |

☆その他の留意事項（書く指導において有効な指導の手立て）

　・　この発展活動の前段階の基本文練習時に，使う表現を意図的に定着させておく。

　・　よいモデルスピーチを与える。

　・　学習者のレベルに合わせた表現リスト（ＩＤＥＡ ＢＯＸ）を与える。

　・　グループ内で，文法や語彙の選択（英語）及びスピーチの展開（内容）が相手にわかりやすいものかどうか，という視点で評価させる。